

# おおだ一日漁推進協同組合

－事業者とともに農林水産資源「おおだ一日漁」のブランド化を推進－



## 【企業概要】

企業名：おおだ一日漁推進協同組合  
代表理事 岡田明久  
所在地：大田市久手町波根西2690-11  
組合員：14社

## 【経緯・課題】

大田市では、小型底引き船が早朝出漁し、その日の夕方帰港する「一日漁」を地域特有の漁として行っている。この漁形態は全国でも数カ所程度で珍しいため、(有)岡富商店が全国に広めようと商標登録をしてPRを行ってきた。しかし、個人の取り組みでは限界があり、組合を設立。全国へ広めるためにはどうすれば良いかと商工会議所へ相談があった。

## 【取り組み内容】

地域で力を合わせて「おおだ一日漁」を広めるため、当所が中心となって行政など協力を得て、「おおだ一日漁ブランド推進会議」を設置。ブランド化の推進に向け、定期的な会議開催を通じ、協同組合とより密に事業の検討やプランニングについて支援を行っている。県や市等、行政も引き続き同会議に参加し、地域を挙げた推進体制を整えた。

地域にとって「当たり前」であった漁法「一日漁」や鮮度の良い魚介類を他の地域と差別化できる「宝物」に磨き上げ、かつ個社では困難なことを当所が全面的に支援することにより、行政や他の業者を巻き込み地域をあげた推進体制の構築へと進化させた。



## 【連携した支援団体等】

中国経済産業局、島根県、大田市

## 【実施事業】

- ・市民へのPR
- ・首都圏でのイベント開催
- ・「一日漁」紹介DVD作成
- ・ECサイト開設に向けたクラウドファンディングの活用 等



## 【成果】

平成29年度には、ブランド化を推進することで、組合員の売上増加や学校給食での取扱回数が増加するなどの成果があったことが評価され、農林水産省中国四国農政局選定の優良事例「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された。

また、日本商工会議所では、「農林水産資源の活用」を地方創生の切り札の一つとしており、JA全農・全森連・全漁連・全国連と協定を締結し、全国の取り組みを調査。その結果、全国8商工会議所が「商工会議所における農林水産資源を活用した取り組み」として報告がまとめられ、当所の取り組みも紹介された。

その中でも特に優良事例であったと評価され日本商工会議所において事例発表を行った。9月には、日本商工会議所より表彰（事業活動表彰部門）されることが決定している。

## 【これまでに活用した事業】

- ・事業継続力アドバイザー派遣事業
- ・地域資源を活用した商品開発・ブランド化における知的財・産活用促進事業
- ・しまね地域資源産業活性化基金助成金
- ・伴走型小規模事業者支援推進事業
- ・国産農林水産物・食品への理解増進事業